

「主体的・対話的で深い学び」の指すものは深い。  
「個別最適・協働的な学び」の前に指導要領の徹底を！  
(愛媛大学講演フルバージョン)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問  
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

# 愛大ESDラボ研修会大学連携セミナー講演 2024年5月11日



**愛大ESDラボ研修会 大学連携セミナー**  
(愛媛大学教職大学院・松山市教育研修センター事務局)

個別最適な学び  
主体的・対話的で  
深い学び  
ウェルビーイング  
もっと深く知りたい、  
そして関心のある方々へ！

講師  
**溝上 慎一 氏**  
学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

**講演テーマ**  
現行の学習指導要領にICT利活用を加えて、  
個別最適・協働的な学びを実現する  
ー資質・能力育成とウェルビーイングー

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」って、結局どうすればよいのか？  
主体的対話的で深い学びの実現に必要なことは？ エージェンシーとは？  
「主体的に学習に取り組む態度」って評価できるの？  
ウェルビーイングを幸福と訳さないほうがいい！ 一体どういこと？

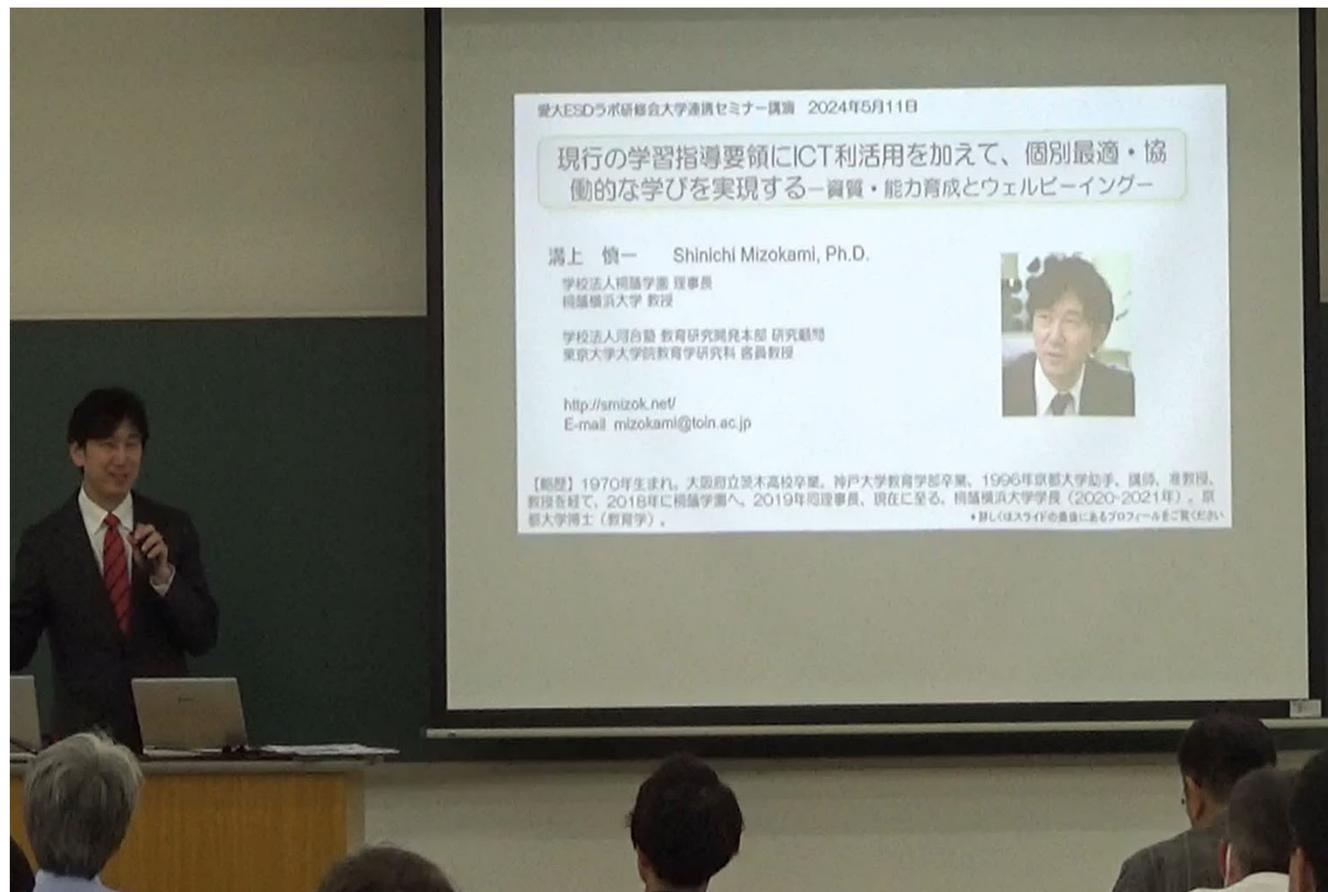
実践例を踏まえて、分かりやすくお話いただけます！

2024年5月11日(土) アクティブ・ラーニングの第一人者が愛媛  
で行う貴重な研修会！  
14:00~17:00  
場所：愛媛大学教育学部  
大講義室  
(愛媛県松山市文京町3番)

参加 対面で実施  
無料 事前申込制

【申し込み方法】  
右のQRコードから  
お申し込みください。  
<https://forms.gle/Zqb44Lpy6YV8qCFU7>

問合せ  
愛大・ESDラボ事務局  
担当：藤原一弘  
〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番  
愛媛大学教育学部 教育発達実践コース内  
E-mail: fujwara.kazuhiro.xb@ehime-u.ac.jp  
愛大・ESDラボ  
<http://esdiab.ed.ehime-u.ac.jp/>



藤原一弘先生@愛媛大学教育学部准教授

## 本日の内容

- ① 現行の学習指導要領の徹底
- ② 主体的な学び、深い学びがどこまで必要かを考える
- ③ 主体性とエージェンシーは同じです
- ④ 「主体的に学習に取り組む態度」は評価できるの？
- ⑤ ウェルビーイングも「主体的な学び」に通じる概念だということを知っていますか？



それではご覧ください

愛大ESDラボ研修会大学連携セミナー講演 2024年5月11日

## 現行の学習指導要領にICT利活用を加えて、個別最適・協働的な学びを実現するー資質・能力育成とウェルビーイングー

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問  
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<http://smizok.net/>

E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)



【略歴】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、教授を経て、2018年に桐蔭学園へ。2019年同理事長、現在に至る。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

\* 詳しくはスライドの最後にあるプロフィールをご覧ください

# 桐蔭学園) 幼稚園・小学校・中等教育学校・高等学校・大学 (桐蔭横浜大学)



## 仕事・社会へのトランジションを見据えたアクティブラーニング/学校教育改革



# チラシご案内

- 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」って、結局どうすればいいのか？
- 主体的対話的で深い学びの実現に必要なことは？ エージェンシーとは？
- 「主体的に学習に取り組む態度」って評価できるの？
- ウェルビーイングを幸福と訳さないほうがいい！ 一体どういうこと？

**愛大ESDラボ研修会  
大学連携セミナー**  
(愛媛大学教職大学院・松山市教育研修センター事務局)

個別最適な学び  
主体的・対話的で  
深い学び  
ウェルビーイング  
もっと深く知りたい、  
そして関心のある方々へ！

講師  
**溝上 慎一 氏**  
学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

**講演テーマ**  
現行の学習指導要領にICT利活用を加えて、  
個別最適・協働的な学びを実現する  
—資質・能力育成とウェルビーイング—

**ポイント解説**  
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」って、結局どうすればいいのか？  
「主体的対話的で深い学びの実現に必要なことは？ エージェンシーとは？」  
「主体的に学習に取り組む態度」って評価できるの？  
ウェルビーイングを幸福と訳さないほうがいい！ 一体どういうこと？

実践例を踏まえて、分かりやすくお話いただけます！

**2024年5月11日(土)** アクティブ・ラーニングの第一人者が愛媛  
で行う貴重な研修会！

**14:00~17:00**  
場所：愛媛大学教育学部  
大講義室  
(愛媛県松山市文京町3番)

参加 **無料** 対面で実施  
事前申込制

**【申し込み方法】**  
右のQRコードから  
お申し込みください。  
<https://forms.gle/Zqb44Lpy6YVBqCFU7>

問合せ 千790-8577 愛媛県松山市文京町3番  
愛大・ESDラボ事務局 愛媛大学教育学部 教育発達実践コース内  
担当：藤原 一弘 E-mail: [fujimura.kazuhiro.xb@ehime-u.ac.jp](mailto:fujimura.kazuhiro.xb@ehime-u.ac.jp) 愛大・ESDラボ <http://esdiab.ed.ehime-u.ac.jp/>

ウォームアップ

- ①あなたの「名前」「学校」「専門教科」等
- ②あなたの好きな食べ物は何ですか？

(1min.×3人)

## 本日の内容

- ① 現行の学習指導要領の徹底
- ② 主体的な学び、深い学びがどこまで必要かを考える
- ③ 主体性とエージェンシーは同じです
- ④ 「主体的に学習に取り組む態度」は評価できるの？
- ⑤ ウェルビーイングも「主体的な学び」に通じる概念だということを知っていますか？



## 本日の内容

- ① 現行の学習指導要領の徹底
- ② 主体的な学び、深い学びがどこまで必要かを考える
- ③ 主体性とエージェンシーは同じです
- ④ 「主体的に学習に取り組む態度」は評価できるの？
- ⑤ ウェルビーイングも「主体的な学び」に通じる概念だということを知っていますか？



## 溝上の当日のコメント

- ・ 小学校の教育課程でSociety5.0人材を視座にしている点がすばらしいです。

※現行学習指導要領「社会に開かれた教育課程」

※中教審 幼保小の架け橋部会の審議経過報告「0～18歳まで見通した学びの連続性」

※中教審答申『教育振興基本計画』（2023.3）

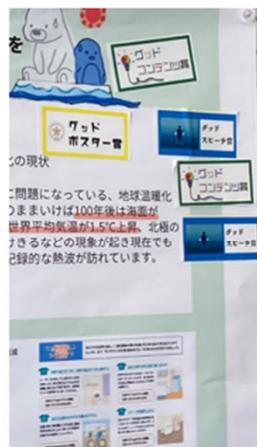
- ①持続可能な社会の創り手の育成（＝Society5.0人材）
- ②日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上

- ・ 課題にしている「対話力」は、主体的・対話的で深い学びの「対話」とやや異なり、まさにSociety5.0人材に必要な大人の「対話」が取り扱われている。Great!!!です。

# 6年生 探究学習の歩み

《桐蔭学園小学校》

学習成果をポスターセッションで発表



**No256**

# 桐蔭学園小学校の 探究的な学習

シンキングツールが教科学習と探究を繋ぐ



溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

# 資質・能力を育てるAL

- お互いの顔・目を見る
- スマイル
- 適度にうなづく

- 個—協働—個の学習サイクル  
(書く) (話す) (書く)

- メモを取る







# 資質・能力を育てるAL

- お互いの顔・目を見る
- スマイル
- 適度にうなづく

• 個—協働—個の学習サイクル  
(書く) (話す) (書く)

- メモを取る



②今日の研修会で考えたい問題を1つ挙げて説明してください。

(2min書く + 3minシェア)

# 資質・能力を育てるAL

- お互いの顔・目を見る
- スマイル
- 適度にうなづく

- 個—協働—個の学習サイクル  
(書く) (話す) (書く)

- メモを取る



# 学校教育の社会的機能の見直し

- 雇用構造の変化（正規・非正規雇用、日本的雇用の衰退、一般化する離転職など）
- 情報化・グローバル化
- 人工知能（AI）、第4次産業革命、Society 5.0
- 予測困難な変化の激しい、問題解決の社会



学校から仕事・社会への**トランジション**（移行）



個と協働のバランス（対話的・協働的なワーク）

# アクティブラーニング型授業

講義＋アクティブラーニング（書く・話す・発表する等の「外化」）

大  
学



+



中  
学・高  
校

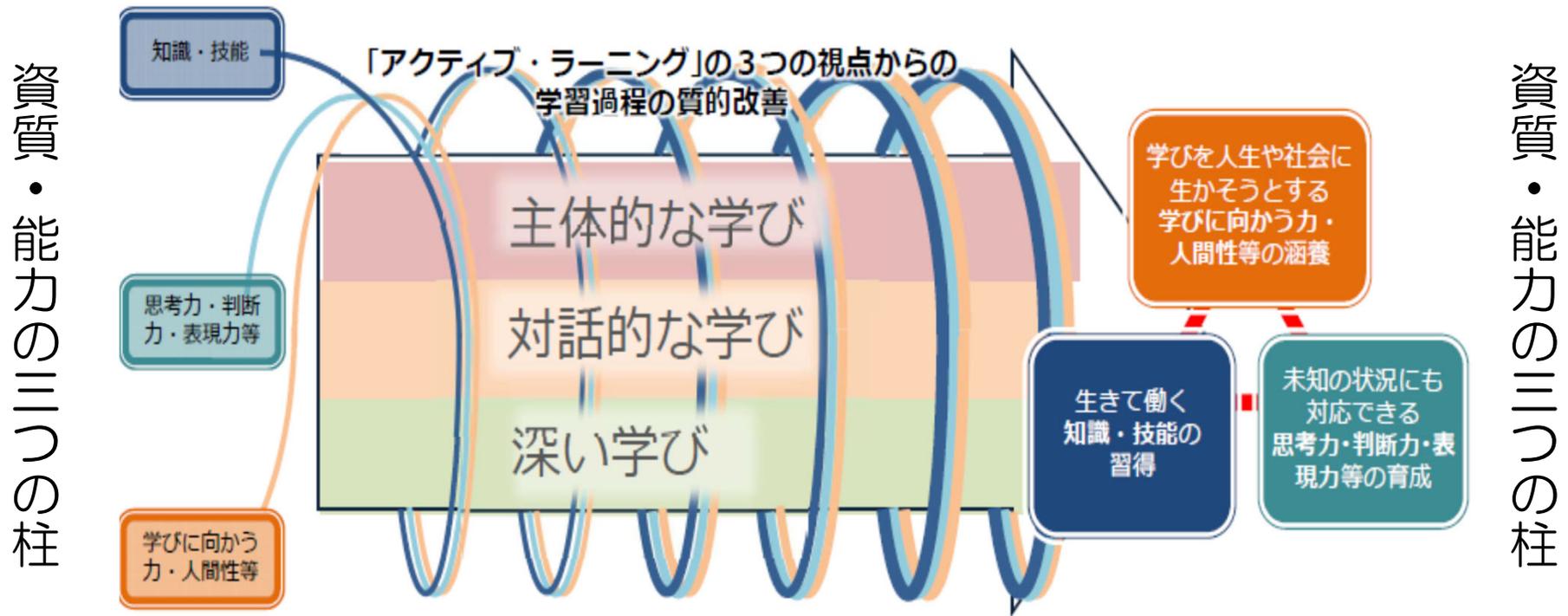


+



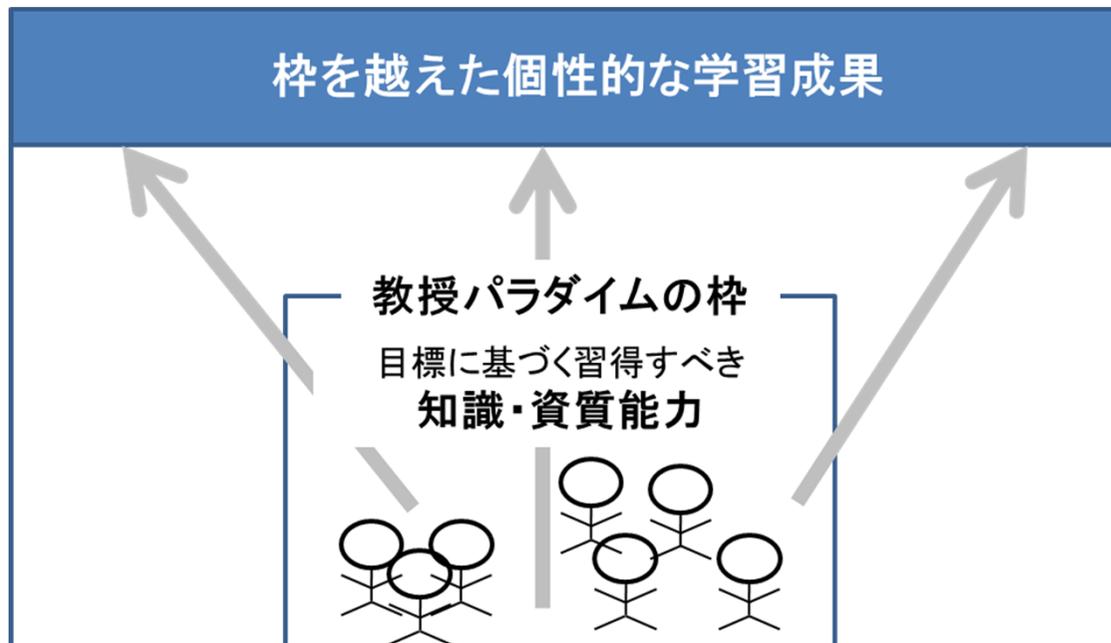
# 新学習指導要領

## 主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」の視点）



# 教授パラダイムから学習パラダイムへの転換

## 学習パラダイム



## 政府の施策との関連

- 学士課程答申（2008年）、平成28年答申（学習指導要領改訂）（2016年）  
「何を教えるか」よりも  
「何ができるようになるか」
- [高等教育] グランドデザイン答申（2018年）  
「何を教えたか」から  
「何を学び、身に付けることができるのか」への転換



# 教授学習パラダイムと習得・活用・探究

(2008年学習指導要領)



〔文  
献〕

・溝上慎一 (2020). 社会に生きる個性—自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシー— 東信堂

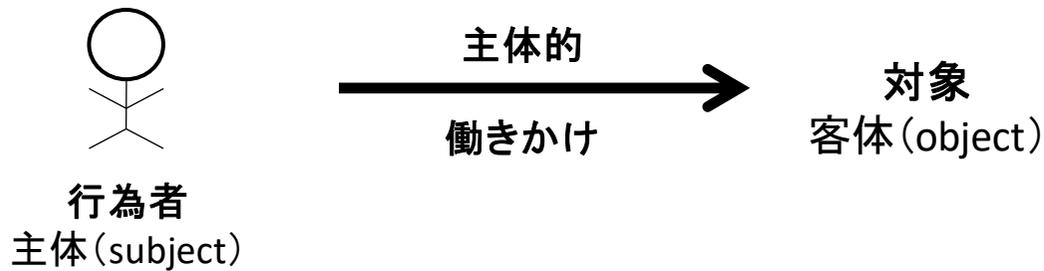
## 本日の内容

- ① 現行の学習指導要領の徹底
- ② 主体的な学び、深い学びがどこまで必要かを考える
- ③ 主体性とエージェンシーは同じです
- ④ 「主体的に学習に取り組む態度」は評価できるの？
- ⑤ ウェルビーイングも「主体的な学び」に通じる概念だということを知っていますか？

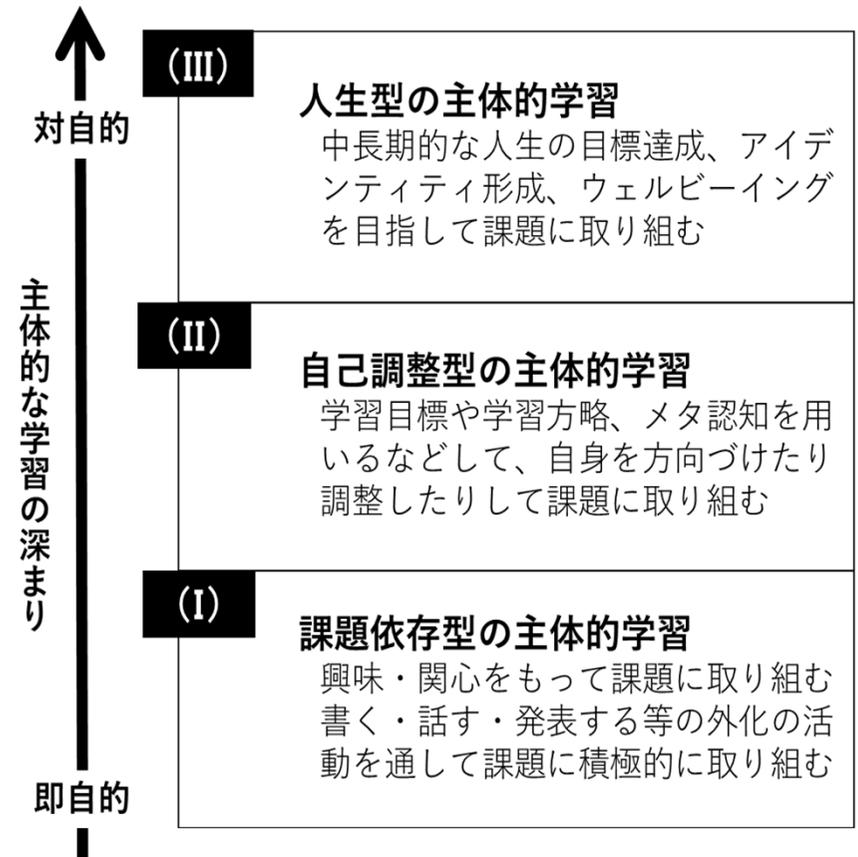


# 主体的な学びとは

「行為者（主体）が対象（客体）にすすんで働きかけるさま」（『日本国語大辞典（第2版）』）



＜主体的な学び＞（新学習指導要領）  
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動をふり返って次に繋げる学び。



・ 溝上慎一（2020）. 社会に生きる個性—自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシー— 東信堂

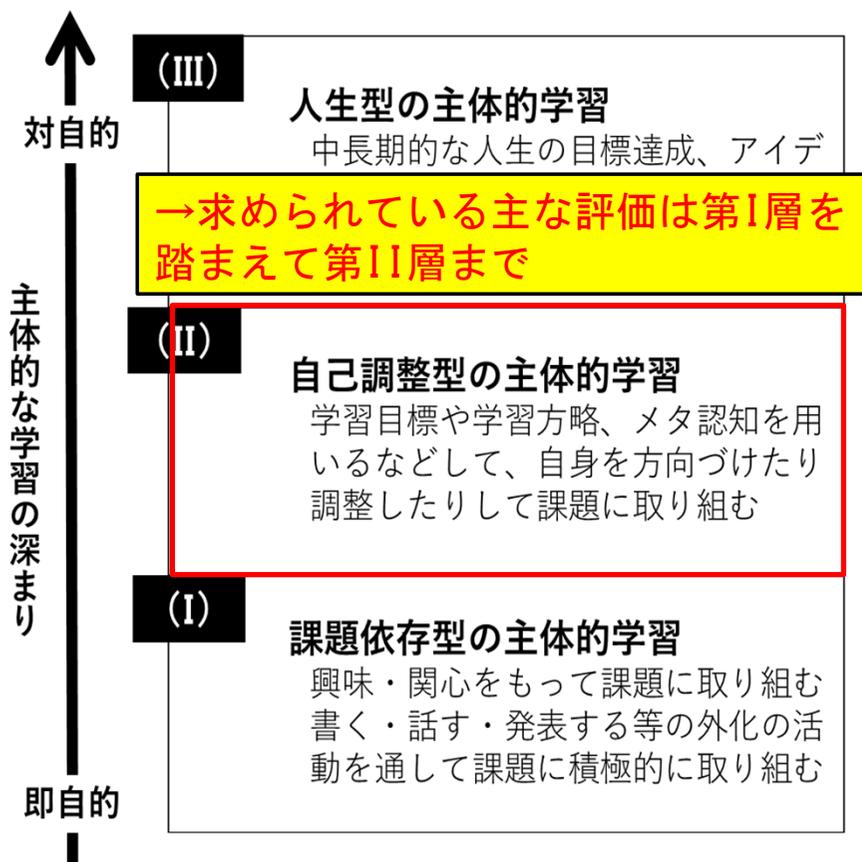
## ①粘り強さ

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面

## ②自己調整

①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

具体的な評価方法としては、ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察や、児童生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いることができます。



# 深い学びとは「接続 (connection)」を原義とする

**意味 (原義 : connection)**  
(あるものとあるものが繋がること)

知識・事象

**浅い学習 (surface learning)**

知識を他の関係なしに単独で理解すること  
(=棒暗記)

**深い学習 (deep learning)**

知識を既有知識や経験、信念、疑問などと繋げて理解すること (=有意味学習)

教授パラダイムから学習パラダイムへの転換

学習パラダイム

政府の施策との関連

- 学士課程答申 (2008年)、平成28年答申 (学習指導要領改訂) (2016年)  
「何を教えるか」よりも  
「何ができるようにするか」
- [高等教育] グランドデザイン答申 (2018年)  
「何を教えたか」から  
「何を学び、身に付けることができるのか」への転換

枠を越えた個人的な学習成果

教授パラダイムの枠  
目標に基づく習得すべき  
知識・資質能力

Readings: 溝上慎一 (2020) 社会に生きる個性—自己と他者・協働的パーソナリティ—エージンシー 東信堂

教授学習パラダイムと習得・活用・探究  
(2008年学習指導要領)

基礎的・基本的な習得

活用

探究

個別的な学習成果

探究プロセス

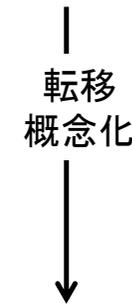
- ① 課題の設定
- ② 情報の収集
- ③ 整理・分析
- ④ まとめ・表現

探究的な学習で求められるのは、習得・活用の学びにおいても活用されるべき

Readings: 溝上慎一の教育論 <http://smizok.net/education/>  
(理論) 教授パラダイムから学習パラダイムへ  
(用語集) 習得・活用・探究

31

事実・知識



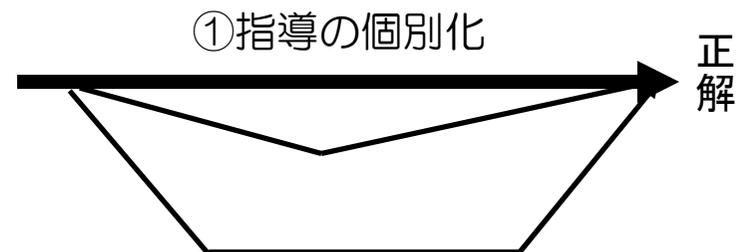
原理・一般化

事実的知識	個別的スキル
(例) ・ヒトラーの台頭	(例) ・年表の作成
転移可能な概念	複雑なプロセス
(例) ・戦争における手段と目的 (e.g. 原爆)	(例) ・歴史的な探究
原理と一般化	
(例) ・戦争の中には「正義の」戦争とみなされるものがある	

マクタイとウィギンズの知の構造

# 個別最適な学び

- ①指導の個別化（＝学習プロセスの個別最適）  
→プリントワーク、AIドリル
- ②学習の個性化（＝学習成果の個別最適）



正解

### 教授パラダイムから学習パラダイムへの転換

学習パラダイム

政府の施策との関連

- 学士課程答申（2008年）、平成28年答申（学習指導要領改訂）（2016年）  
「何を教えるか」よりも  
「何ができるようになるか」
- [高等教育] グランドデザイン答申（2018年）  
「何を教えたか」から  
「何を学び、身に付けることができるのか」への転換

Readings 溝上慎一（2020）. 社会に生きる個性—自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシー— 東信堂

### 教授学習パラダイムと習得・活用・探究

（2008年学習指導要領）

基礎的・基本的な知識理解

個人的な学習成果

探究プロセス

- ①課題の設定
- ②情報の収集
- ③整理・分析
- ④まとめ・表現

探究的な学習で求められる力は、習得・活用の学びにおいても活用されるべき

文献 溝上慎一 の教育論 <http://smizok.net/education/> (理論) 教授パラダイムからから学習パラダイムへ (用語集) 習得・活用・探究

31

# 「対話的な学び」と「協働的な学び」との分別

(主体的・対話的で深い学び)

cooperative learning

小学校

個別最適な学び

対話的な学び



全体指導での対話的な学び



ペア・グループワークでの対話的な学び

中学校

協働的な学び

協働的な学び



探究的な学び



STEAM

高等学校

個別最適な学び

対話的な学び  
協働的な学び

大学短大

Society 5.0

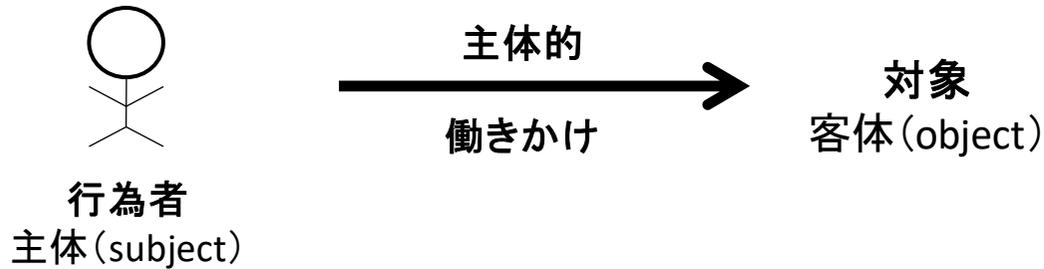
## 本日の内容

- ① 現行の学習指導要領の徹底
- ② 主体的な学び、深い学びがどこまで必要かを考える
- ③ 主体性とエージェンシーは同じです
- ④ 「主体的に学習に取り組む態度」は評価できるの？
- ⑤ ウェルビーイングも「主体的な学び」に通じる概念だということを知っていますか？

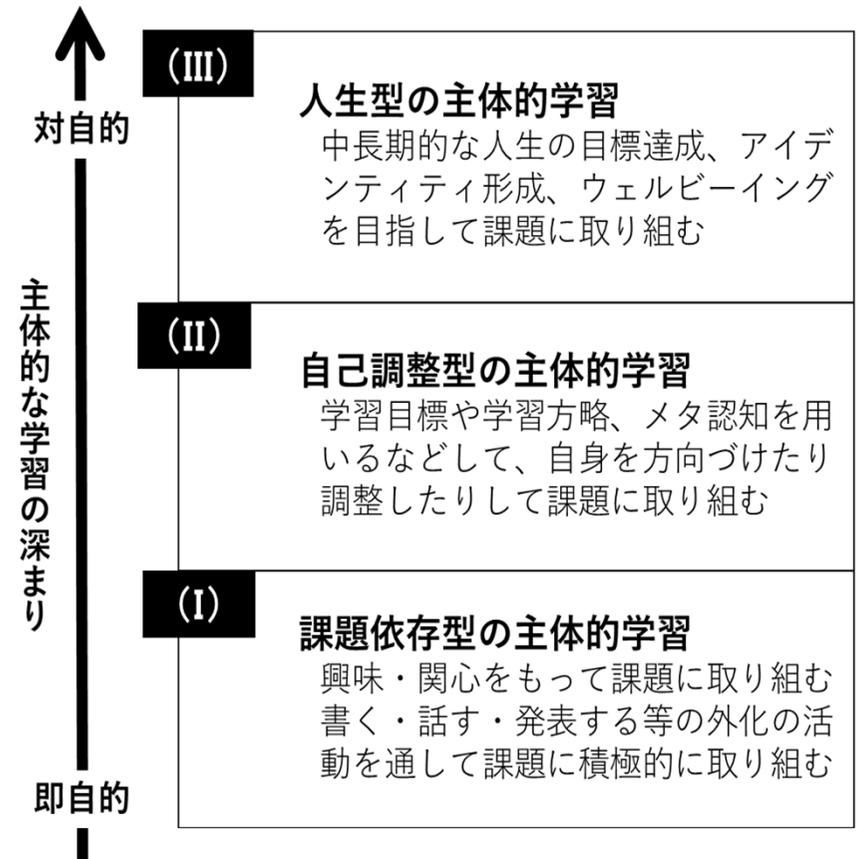


# 主体的な学びとは

「行為者（主体）が対象（客体）にすすんで働きかけるさま」（『日本国語大辞典（第2版）』）



＜主体的な学び＞（新学習指導要領）  
学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動をふり返って次に繋げる学び。



・ 溝上慎一（2020）．社会に生きる個性—自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシー— 東信堂

# OECD Education 2030 「ラーニングコンパス」

OECDで求められるエージェンシーは個人内の主体性以上のものである。社会的な主体性！



## Readings

白井俊 (2020). OECD Education2030プロジェクトが描く教育の未来－エージェンシー、資質・能力とカリキュラム－ ミネルヴァ書房

## 本日の内容

- ① 現行の学習指導要領の徹底
- ② 主体的な学び、深い学びがどこまで必要かを考える
- ③ 主体性とエージェンシーは同じです
- ④ 「主体的に学習に取り組む態度」は評価できるの？
- ⑤ ウェルビーイングも「主体的な学び」に通じる概念だということを知っていますか？



# 観点別評価の考え方・方法



## 3観点

- ①知識・技能
- ②思考・判断・表現
- ③主体的に学習に取り組む態度

(参考) 文部科学省・国立教育政策研究所 (2019年6月14日)  
『学習評価の在り方ハンドブック (高等学校編)』

[https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/gakushuhyouka\\_R010613-01.pdf](https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/gakushuhyouka_R010613-01.pdf)

## ①粘り強さ

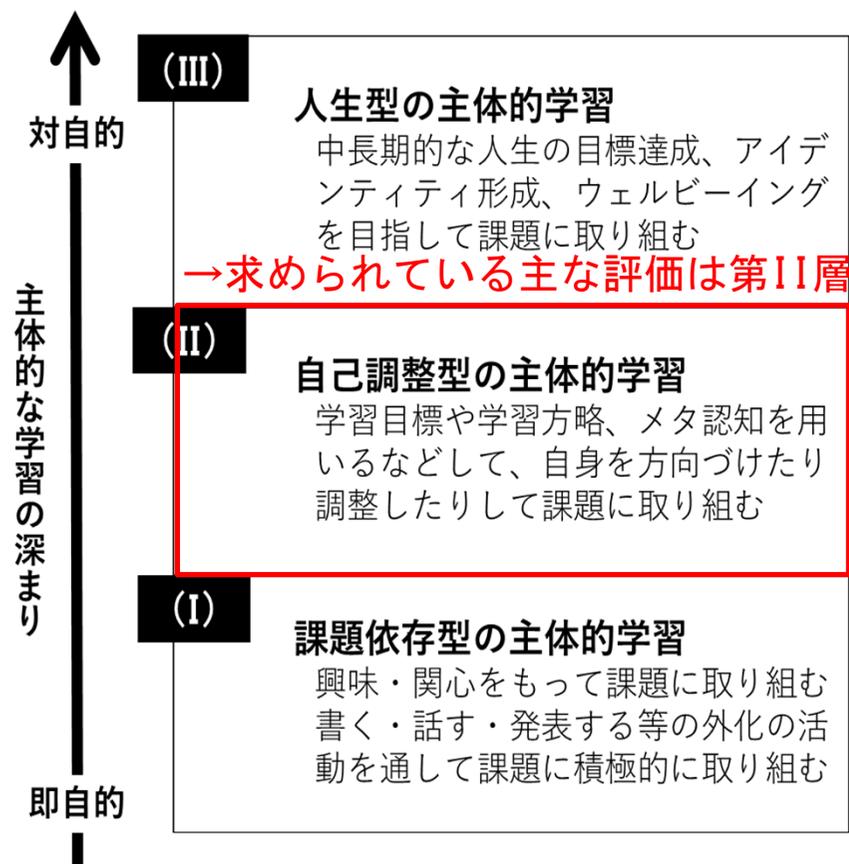
知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面

## ②自己調整

①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

具体的な評価方法としては、ノートやレポート等における記述、授業中の発言、教師による行動観察や、児童生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いることができます。

→求められている主な評価資料は「形成的評価」  
→ワークシートがもっとも簡便でいいのでは？

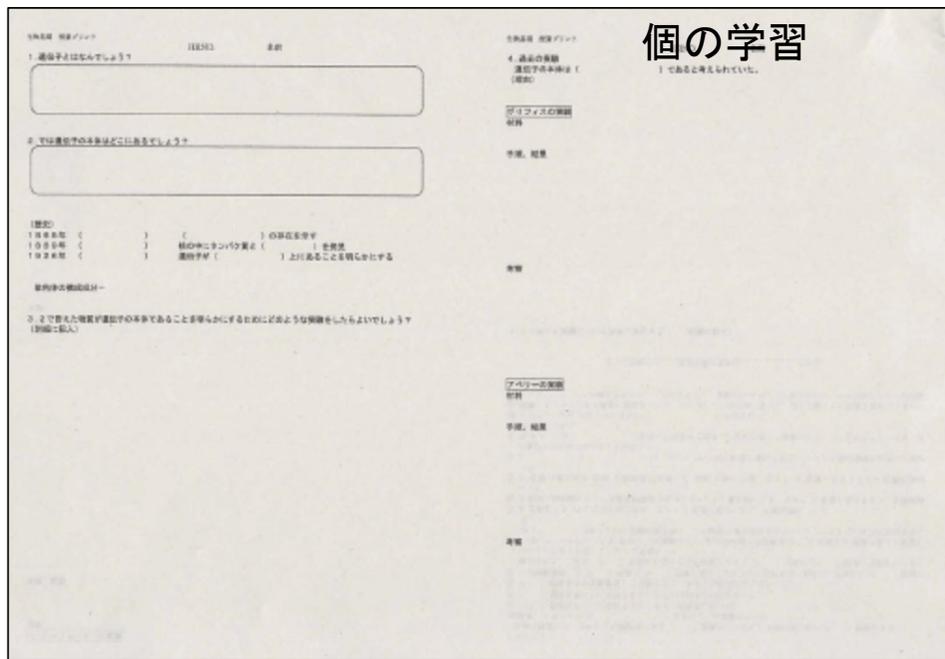


(Point 1) 単元や題材などの内容や時間のまとまりごとに、それぞれの実現状況を把握できる段階で（評価を）行うなど、その場面を精選する

『学習評価の在り方ハンドブック（高等学校編）』

(例)

観点	単元1	単元2	単元3	総括的評価（学期）	単元X	単元Y	評定（年度末）
知識・技能	A+	B+	A	A	A+	A+	A+
思考・判断・表現	A	A	A	A	A	A	A
主体的に学習に取り組む態度	A	B+	A	A	C	B	B



ワークシート (静岡高校2年生「生物基礎」)



個の学習



協働の学習

- ・ 溝上慎一の教育論 <http://smizok.net/education/>  
 (AL関連の実践) 【高校/理科】ジグソー法を用いたアクティブラーニング型授業



<中和反応とイオンの数の変化> ～湯川の中和対策事業を通して学ぶ～

◎本時の目標

- ① 群馬県を流れる河川「湯川」における水質管理法を通して、化学による環境対策を学ぶ。
- ② 中和反応と溶液中のイオンの関係を図示できるようになる（次時のグラフ化へつなげる）。

◆ 酸性河川の問題点とは？

自分の考え	ペアワーク時のメモ

酸性の原因：火山ガス中の(1) が湯川に溶けることで生成する(2)

$$3 \text{ (}^{\text{1}} \text{)} + 2\text{H}_2\text{O} \rightarrow 2 \text{ (}^{\text{2}} \text{)} + \text{S}$$

◆ 中和剤に「水酸化ナトリウム」を用いて水質を改善できるか？

化学反応式 \_\_\_\_\_

中和反応と溶液中のイオンの関係

(長崎東中学校「理科」)

## 本日の内容

- ① 現行の学習指導要領の徹底
- ② 主体的な学び、深い学びがどこまで必要かを考える
- ③ 主体性とエージェンシーは同じです
- ④ 「主体的に学習に取り組む態度」は評価できるの？
- ⑤ ウェルビーイングも「主体的な学び」に通じる概念だということを知っていますか？





溝上慎一著（2024.1.23刊行）

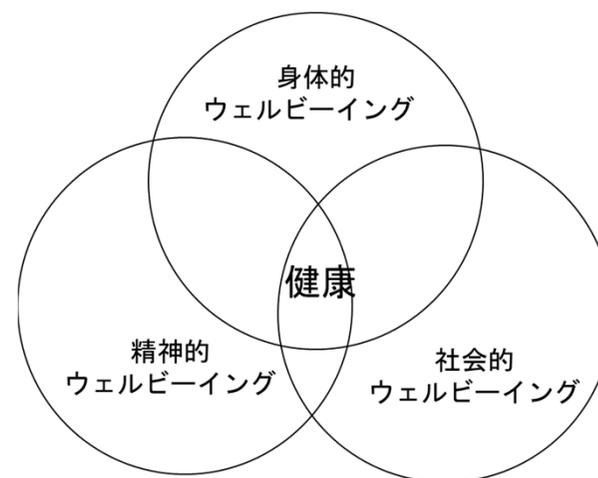
『幸福と訳すな！ウェルビーイング論  
—自身のライフ構築を目指して—』  
（東信堂）

## 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

○ ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念である。

### POINT

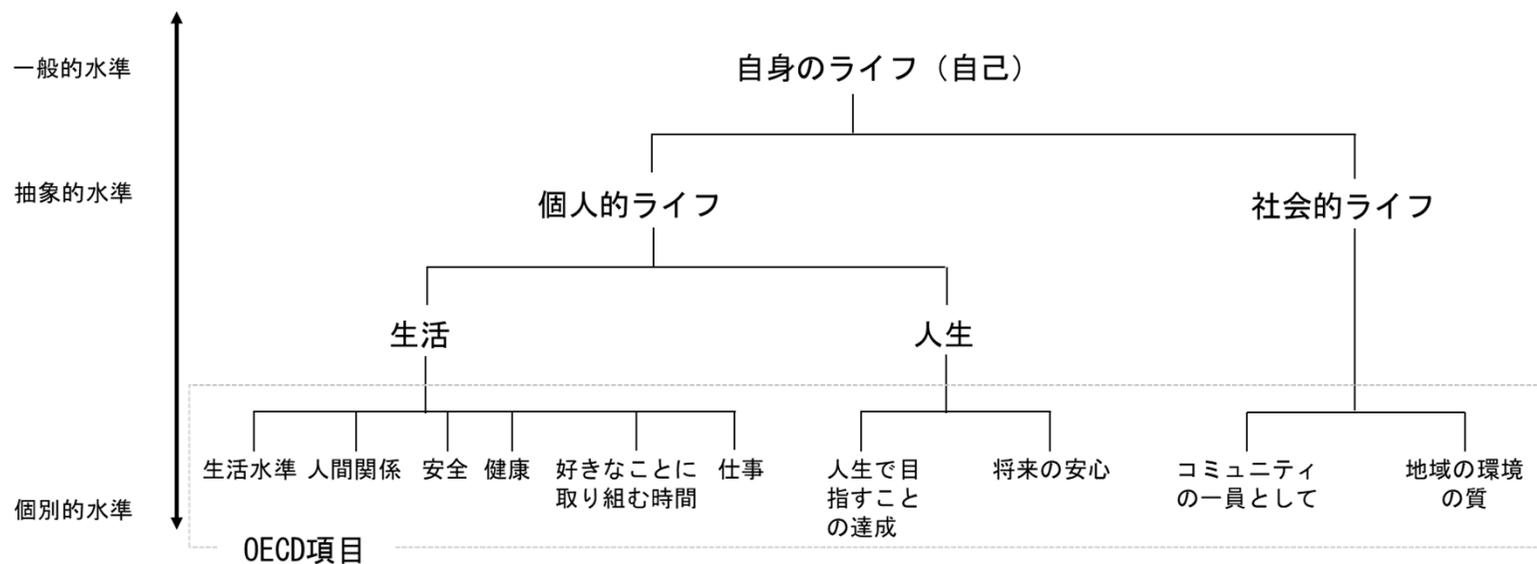
- 身体的・精神的・社会的に良い状態
- 日々の生活から人生までの幸福を対象とする
- 個人の良い状態だけでなく、地域・社会の良い状態をも対象とする



WHO（世界保健機関）憲章（1948）における「健康（health）」の定義

(溝上の定義)

ウェルビーイングとは、主観的に良しと評価する「自身のライフ」を過ごしている状態である



アリストテレスは『ニコマコス倫理学』で、「よく活動すること (Doing well)」「よく生きること (Living well)」の結果として感じられる幸福を論じた (=幸福・エウダイモニア論)。

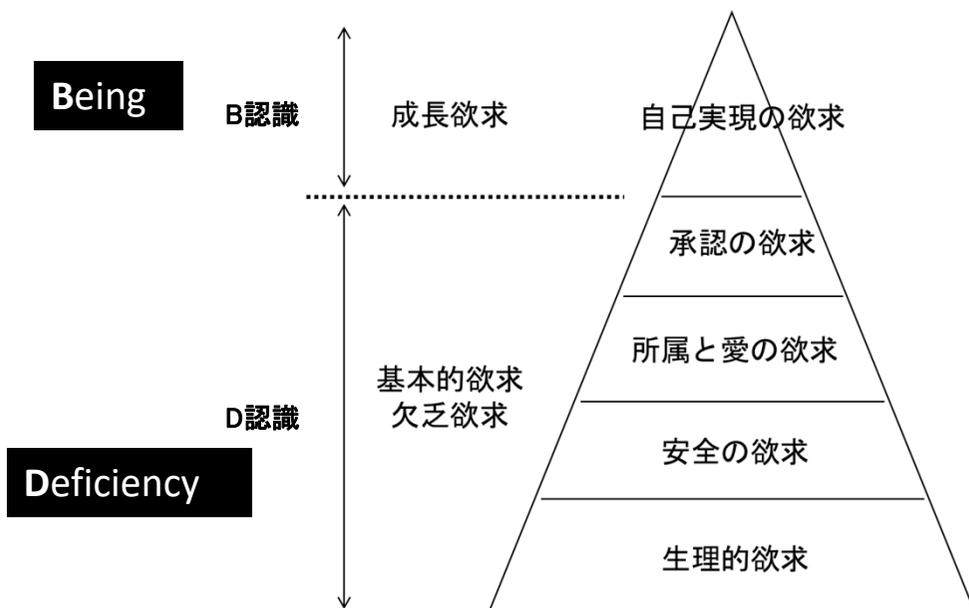
〔文

献 ・ 溝上慎一 (近刊) ウェルビーイング—自身のライフ構築を目指して— 東信堂

# ウェルビーイング前史 1950-1970年代

## マズローの欲求階層・自己実現論

## フロムの2つの存在様式の転換



- 持つ様式 (to have / having)
- ある様式 (to be / being)

生きがい (神谷美恵子, 1966)

- 〔文  
献〕
- ・マズロー, A. H. (著) 小口忠彦 (訳) (1987). 人間性の心理学 [改訂新版] 産業能率大学出版部
  - ・フロム, E. (著) 佐野哲郎 (訳) (1977). 生きるということ
  - Fromm, E. (1976). To have or to be? New York: Harper & Row.

## 世の中での危ういウェルビーイングの用いられ方

- ・ウェルビーイングが高い社員は生産性が高い？
- ・1986年から3年にわたってなされたアメリカ・カリフォルニア州の自尊感情プロジェクトの過ちを繰り返すな（＝自尊感情神話）

# ウェルビーイングから主体的な学び・エージェンシーへ

## 考え方

①様々な学習活動に対する満足や幸福などをアセスメントし、生徒の個別的ウェルビーイングを把握する

②ウェルビーイングの視点は、主体的な学び・エージェンシーの意義をいっそう高め、教科の学習活動から生徒一人ひとりのライフ構築（＝キャリア教育）に発展する可能性をもっている。

(溝上の定義)  
ウェルビーイングとは、主観的に良しと評価する「自身のライフ」を過ごしている状態である

アリストテレスは『ニコマコス倫理学』で、「よく活動すること (Doing well)」「よく生きること (Living well)」の結果として感じられる幸福を論じた (=幸福・エウダイモニア論)。

〔文〕  
〔献〕 溝上慎一 (近刊) ウェルビーイング—自身のライフ構築を目指して— 東信堂

主体的な学びとは

「行為者 (主体) が対象 (客体) にすすんで働きかけるさま」 (『日本語大辞典 (第2版)』)

主体的な学習の深まり

- (III) 人生型の主体的学習  
中長期的な人生の目標達成、アイデンティティ形成、ウェルビーイングを目指して課題に取り組む
- (II) 自己調整型の主体的学習  
学習目標や学習方略、メタ認知を用いるなどして、自身を方向づけたり調整したりして課題に取り組む
- (I) 課題依存型の主体的学習  
興味・関心をもって課題に取り組む書く・話す・発表する等の外化の活動を通して課題に積極的に取り組む

〔文〕  
〔献〕 溝上慎一 (2020). 社会に生きる個性—自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシー— 東信堂

# まとめ？振り返り？リフレクション？

- リフレクションとは  
事象を選ぶ・繋ぐ  
言語化する  
※「振り返り」では十分にリフレクション  
を言い表していない
- メタ認知的活動
  - ①モニタリング
  - ②コントロール

活動から未来が立ち上がる



# YouTube動画チャンネルのご案内

No149 新著の紹介(コーナー)

新著『授業が変わる学習評価深化論  
観点別評価で学力を伸ばす「学びの舞台づくり」』  
石井英真先生(京都大学教育学研究科准教授)



観点別評価を正しく理解し、  
うまく使ってほしい!



No20(心理学)

## #6 心理学から見ると

### 「非認知能力」はどのような概念か

—小塩真司先生(早稲田大学教授)にインタビュー—



『非認知能力』をどのよう  
な視座で編集したかを聴  
きました!



No228 新著の紹介(コーナー)

## 特別支援教育にアクティブ・ ラーニングは追い風?



涌井恵先生  
(白百合女子大学人間総合学部 准教)



No234 新著の紹介(コーナー)

## 元文部科学省キャリア官僚が 問う『教育改革を「改革」する』

ピカピカのテクノロジー使って  
「個別最適化」やってれば、ま、それでええか

寺田拓真氏

(元文部科学省キャリア官僚、広島県総務局付課長)



## 本日の内容

- ① 現行の学習指導要領の徹底
- ② 主体的な学び、深い学びがどこまで必要かを考える
- ③ 主体性とエージェンシーは同じです
- ④ 「主体的に学習に取り組む態度」は評価できるの？
- ⑤ ウェルビーイングも「主体的な学び」に通じる概念だということを知っていますか？

ご清聴有り難うございました



# プロフィール

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、2000年講師、2003年京都大学准教授、2014年教授を経て、2019年学校法人桐蔭学園理事長。桐蔭横浜大学学長（2020-2021）。京都大学博士（教育学）

河合塾教育研究開発本部研究顧問、東京大学大学院教育学研究科客員教授、電通育英会大学生調査アドバイザー、日本青年心理学会理事、大学教育学会理事、文部科学省初等中等教育分科会教育課程部会臨時委員、日本学術会議連携会員、日本青年心理学会学会賞受賞（2013年）、日本教育情報学会論文賞（2023年）受賞

専門は、青年・発達心理学・教育実践研究（自己・アイデンティティ形成、学びと成長、アクティブラーニング、学校から仕事・社会へのトランジション、人生100年時代のキャリア形成など）。著書に『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』（2014東信堂、単著）、『学習とパーソナリティ「あの子はおとなしいけど成績はいいんですよ！」をどう見るかー』（2018東信堂、単著）、『社会に生きる個性ー自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシーー』（2020東信堂、単著）、『高校生の学びと成長に向けた「大学選び」ー偏差値もうまく利用するー』（2021東信堂、単著）、『インサイドアウト思考ー創造的思考から個性的な学習・ライフの構築へー』（2023東信堂、単著）、『高校・大学・社会 学びと成長のリアルー「学校と社会をつなぐ調査」10年の軌跡ー』（2023学事出版、編著）、『幸福と訳すな！ウェルビーイング論ー自身のライフ構築を目指してー』（2023東信堂、単著）など多数。

<http://smizok.net/>

